

大切な人の人生を守りたい

～私からあなたへ そして地域へ～



日 時 令和3年11月2日(火) 第3校時
 場 所 国語01教室
 学 級 第7学年1組(38名)

1 単元のデザイン

本単元の目標

大切な人を守るための健康法を考案し、その健康法を地域に発信する活動を通して、健康な「100年人生」を送ることは、日々の生活と深く関わっていることを理解し、他者との交流を通して、多面的に健康法を考えるとともに、自己の学習状況を把握・調整しながら粘り強く学ぼうとすることができるようにする。

単元観

「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。」とWHO憲章で定義されている。(日本WHO協会訳)このことを踏まえて、本単元は、「人生100年時代」といわれる現代を健康に生きるための方法を考えることを通して、他者の意見を取り入れながら、多面的に課題を解決していく力を身に付けることをねらいとしている。大切な人が心身ともに健康で、社会的にも良好な状態で過ごすためにはどうすればよいのかを考えていく。

本単元と実生活との関わり

本単元と実生活との関わりは、次の2点である。1点目は、自分にとって身近な人の健康を考えることである。大切な人の健康状況を改善するために、意欲的に取り組むことが期待される。また、大切な人の健康を考えることを通して、自分の健康についても考えることにつながる。2点目は、世界的に広く取り組まれている、SDGsの「3 すべての人に健康と福祉を」と関連していることである。社会的な問題にも関心を高めることができる。

児童生徒観

事前の意識調査の結果は以下の通りである。

内容	肯定的評価
総合的な学習の時間はむずかしいけど、前向きに取り組もうと思います。	80%
授業では、自分で課題を設定しています。	14%
授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	31%
学級や学年のみんなと協力して何かをやり遂げ、うれしく感じたことがあります。	86%
授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	63%
授業では、課題の解決に向けて、途中であきらめず、最後まで取り組んでいます。	66%
授業では、学習の進み具合を見て、学習計画を見直しています。	32%

以上の結果から、本学級の生徒は、総合的な学習の時間に前向きに取り組む、友達と協力して何かをやり遂げることの喜びを感じ、授業内でも話し合いを通して、学習を深めようとしていることが分かる。

一方、課題としては、次の3点が挙げられる。1点目は、自ら課題を設定することである。この原因としては、各教科等で、生徒主体で学習課題を設定し、課題を解決していく活動が十分でなかったと考えられる。2点目は、情報を整理したり、分析したりし、そこから分かったことをまとめることである。この原因としては、情報を整理したり分析したりするために、内容に合わせて思考ツールを活用したり、分かったことや考えたことを分かりやすく表現する活動につなげたりする指導が十分でなかったことが考えられる。3点目は、状況に合わせて自ら学習計画を立てることである。課題の解決に向けて、生徒自身が学習計画を立てたり、学習状況を把握し、調整・修正しながら学習計画を見直したりする指導が不十分であったことが考えられる。前向きに学習に取り組む一方、考えの広がりや深まりを感じられていないことも、自ら学習を進めていく中で、改善されると考えられる。

指導観

- 自分事として課題を設定し、解決に向けて取り組むことができるようにするために、両親や祖父母など、健康でいてほしい大切な人の健康な生活を考える活動を設定する。
- 学習課題の解決に向けて多面的に思考することができるように、思考ツールを活用して収集した情報を整理・分析したり、他者と交流をしたりする活動を設定する。
- 自ら設定した課題を計画的に解決していくことができるように、「府中学園探究スタイル」を支えに学習活動や学習時間、考える上で使用する思考ツールを決めるなど、学習計画を立てる活動を設定する。
- 生徒が自身の学習状況を把握し、学習計画を見直していくことができるように、「学びゲット」を活用して、毎時間、学習の振り返りを行う。

2 本校の資質・能力と本単元との関わり

学習指導要領に示す目標や内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
本校	知識及び技能	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力
本単元	100年人生の生涯を通じた健康は、日々の健康な生活と深く関わっていることを理解し、そのためにすべき手段・方法を見いだすこと。	健康について課題を見いだし、解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の課題発見・解決につなげていくこと。	いろいろな価値観や背景をもつ人々による集団において、相互関係を深め、共感しながら、人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験したことのない課題について、対話をして情報を共有し、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深め合いつつ、合意形成・課題解決すること。	自分で設定した健康についての課題に進んで取り組み、他者と関わりながら粘り強く課題解決を図ろうとすること。	学習目標に対する成果だけでなく、そこに向かって自分なりに考えたり工夫したり、また、他の子どもと対話したり協働したりすることを通して、自分の考えを修正しようとする事。

3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
・「健康」とは何か。	・健康な生活のための習慣や心がけを踏まえ、健康を推進する社会づくりを提案することはできないだろうか。	・「人生100年時代」における健康とはどのようなものだろうか。 ・大切な人の健康を取り巻く障壁を解決する食生活・睡眠・環境・運動とはどのようなものだろうか。 ・誰もが健康な100年人生を送れるコミュニティとはどのようなものだろうか。

4 単元の評価規準及びルーブリック

学習指導要領に示す目標や内容	資質・能力(本校)	観点	A	B	C
知識及び技能	知識及び技能	知識	生涯を通じた健康と健康な生活とを関連付けて説明している。	健康な生活について聞かれたら答えている。	健康な生活について分かっていない。
		技能	自分の考えを根拠を基に相手に分かりやすく説明している。	自分の考えを相手に分かりやすく説明している。	自分の考えを相手に分かりやすく説明していない。
		探究的な学習のよ	自らの生涯を通じた健康づくりの意識や行動の変容は、	自らの生涯を通じた健康づくりの意識の変容	自らの生涯を通じた健康づくりの意識の変容

		さの理解	100年人生を健康に過ごすことについて探究的に学んだ成果だと気付いている。	は、100年人生を健康に過ごすことについて探究的に学んだ成果だと気付いている。	は、100年人生を健康に過ごすことについて探究的に学んだ成果だと気付いていない。
思考力、判断力、表現力等	課題発見・解決力	課題設定	Bに加え、明確な理由をもって自分の課題を設定し、解決手段を具体的に考えて計画を立てている。	地域に広く目を向け、自分なりの課題を設定し、見通しをもって計画を立てている。	自分なりの課題を設定できず、見通しをもって計画を立てられていない。
		情報収集	目的に応じて、必要な情報を十分に収集している。	たくさん情報を集めている。	情報を収集していない。
		整理・分析	Bに加え、さらに関連付けたり比較したりして情報を分析している。	視点を決めて集めた情報を分類している。	視点を明確にして集めた情報を分類していない。
		まとめ・表現	Bに加え、レイアウトや構成を工夫しながら、根拠を明らかにして説明している。	相手意識をもって、自分の考えをまとめ、表現している。	自分の考えをまとめていない。
学びに向かう力、人間性等	コミュニケーション能力	言語能力	Bに加え、情報を吟味している。	情報の内容が分かり、その情報に対する自分の考えをもっている。	情報の内容が分かっていない。
		協働性	Bに加え、自他のよさを生かして協働的に探究活動に取り組んでいる。	友達や地域の人と協働して探究活動に取り組んでいる。	友達や地域の人と協働して探究活動に取り組んでいない。
	粘り強く学習に取り組む態度	粘り強く学習に取り組む態度	上手い出来ないことがあっても途中であきらめずに試行錯誤しながら、取り組もうとしている。	上手い出来ないことがあっても途中であきらめずに取り組もうとしている。	上手い出来ないことがあっても途中であきらめている。
自己調整力	メタ認知	Bに加え、自分の学習計画を修正しながら活動を調整している。	自分の学習でできたことやできなかったことを振り返っている。	自分の学習でできたことやできなかったことの振り返っていない。	

5 単元と評価の計画（全43時間）

時	学習活動	評価			
		知	思	態	
1 ～ 17	健康な生活のために行うべき適切な習慣や心がけとは何か？（17） 課題の設定 ・イメージマップを用いて、自分にとっての大切な人、その人にどんな風に生きていてほしいかを考え、課題を決める。 例 ・両親に幸せで楽しく生活してほしい。 ・祖父母に長生きしてほしい。 等		課		・地域に広く目を向けて課題を見いだしている。（思考ツール）

- 課題を解決するための学習計画を立てる。

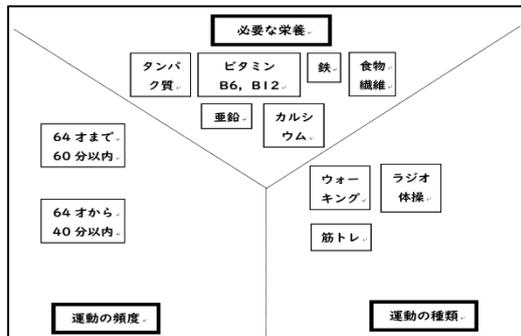
情報の収集

- 健康に生活する上での問題点を挙げ、必要な情報を収集する。



整理・分析

- 「病気」「運動」「睡眠」「食事」「ストレス」などのグループに分かれて整理・分析する。



まとめ

- 「健康な生活のために行うべき適切な習慣や心がけ」に関する情報を全体で共有する。

振り返り

- 小単元1の学習を振り返り、「KWL」に「知っていること」「知りたいこと」「学んだこと」を整理する。

知っていること	知りたいこと	学んだこと
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の筋力アップには、バランスの取れた食事と、適切な運動と強度が大切。 高齢者に不足しやすい栄養素は、タンパク質、ビタミンB6、B12、カルシウム、鉄、亜鉛、食物繊維。 	<ul style="list-style-type: none"> おじいちゃん、おばあちゃんは生活の中で、何に困っているか。 具体的にどんな運動をすればよいか。 高齢者の健康を促進するために、全国でどんな取り組みがされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動は体にいいと思うけど、人によって適切な運動が違うこと。 運動するためには、バランスの取れた食事と大切だということ。

知

情

整

粘

メ

メ

協

メ

言

ま

探

- 課題解決に向けて粘り強く学習に取り組んでいる。

(思考ツール)

- 自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。

(「学びゲット」)

- 健康的な生活について理解している。(思考ツール、ロイロノート・スクール)

- 多様な方法で情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積している。

(ロイロノート・スクール)

- 自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。

(「学びゲット」)

- 適切な思考ツール等を選んで情報を整理している。

(ロイロノート・スクール)

- 身の回りの課題の問題解決に他者と協働して取り組んでいる。

(ロイロノート・スクール、発言)

- 自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。

(「学びゲット」)

- 情報を読み取って、自分の考えを構築し、表現している。(ロイロノート・スクール、発言)

- 相手意識をもって、自分の考えをまとめ、表現している。(ロイロノート・スクール、発言)

- 自らの生涯を通じた健康づくりの意識の変容は、100年人生を健康に過ごすことについて探究的に学んだ成果だと気付いている。(「学びゲット」)

<p>18 ～ 43</p>	<p>健康な生活のための習慣や心がけを踏まえ、健康を推進する社会づくりを提案することはできないだろうか。(26)</p> <p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有した情報を踏まえ、「運動」「睡眠」「食事」「ストレス」などのグループに分かれて、大切な人に提案するための課題を再設定し、学習計画を立てる。 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 両親に幸せで楽しく生活してもらうために、ストレスをためない方法。 祖父母に長生きしてもらうために、どんな運動ができ、運動しなかったらどんなリスクがあるのか。 			<p>課 粘 メ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域に広く目を向けて課題を見いだしている。(思考ツール) 課題解決に向けて粘り強く学習に取り組んでいる。(「学びゲット」) 自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。(「学びゲット」) 自分の大切な人に合うライフスタイルを提案している。(ロイロノート・スクール、発言)
	<p>情報の収集 整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家（公共施設、介護施設等）の意見を参考にして、グループごとに企画書を作成・修正する。 		<p>情 整 言 協 メ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な方法で情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積している。(ロイロノート・スクール) 適切な思考ツール等を選んで情報を整理している。(ロイロノート・スクール) 情報を読み取って、自分の考えを構築し、表現している。(ロイロノート・スクール、企画書) 身の回りの課題の問題解決に他者と協働して取り組んでいる。(ロイロノート・スクール) 自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。(「学びゲット」) 	
	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切な人に企画書を提案し、相手のニーズに合っているかなどの視点から検証する。 企画書を集約し、公共施設などに置いてもらうなどして、地域に発信する。 		<p>ま メ 課 技</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもって、自分の考えをまとめ、表現している。(企画書) 自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。(「学びゲット」) 地域に広く目を向けて課題を見いだしている。(思考ツール) 自分の大切な人に合うライフスタイルを提案している。(企画書) 課題解決に向けて粘り強く学習 	

				に取り組んでいる。 (「学びゲット」) ・自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。 (「学びゲット」)
	振り返り ・これまでの学習を振り返り、自分に身に付いた資質・能力を自己評価する。	探		・自らの生涯を通じた健康づくりの意識の変容は、100年人生を健康に過ごすことについて探究的に学んだ成果だと気付いている。(「学びゲット」)

6 本時の目標及び学習展開

(1) 本時の目標

大切な人たちに提案する企画書を作成するために、グループで情報を整理したり、議論したりすることを通して、他者と協働して課題を解決する企画書を作成することができる。

(2) 本時の学習展開（情報の収集、整理・分析3時間目）

主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価規準、※評価方法
1 グループごとに立てた学習計画と進捗状況、本時の最後に学習の経過報告をすることを確認する。 ○グループで立てた学習計画通り進んでいますか。今日は、どんな役割分担、流れで企画書の作成を進めていきますか。 ○この時間の最後に学習の経過報告をしてもらいます。	○学習状況を生徒自身が把握し、より深い学習にするために、計画通り進んでいない場合は計画を修正したり、役割分担をしたりするよう促す。
2 各グループで企画書を作成する。 おじいちゃん、おばあちゃんでもできる運動方法の場合の例 【収集した情報の共有】 ①おじいちゃん・おばあちゃんに聞いた情報 <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人たちとゲートボールをよくしているみたい。 ・最近、足腰が弱って、筋力をつけないといけないと思っているようだよ。 ・特に膝や腰が痛くて、移動をしたり、掃除をしたりするのが辛いんだって。 ②公共施設の方に聞いた情報 <ul style="list-style-type: none"> ・イスに座った状態で行える運動法はどうかと言われたよ。 ・NHKの「テレビ体操」を参考にしてみるのはどうかって。 ・その場足踏みもいいんじゃないかだって。 ③介護施設の方に聞いた情報 <ul style="list-style-type: none"> ・運動も大切だけど、ストレッチで体の筋肉をほぐすことも大切だよ。 ・毎日、タオルを使ったストレッチをやっているよ。 ④日本全国で行われている取組の情報 <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇県では新型コロナウイルス感染症予防で外出を控えている高齢者向けに、家でもできる運動を紹介する動画をホームページにアップしていたよ。 	○生徒主体で学習を進めていくために、答えとなるような助言をしすぎず、どうしたら調査が進むか生徒と同じ立場で考えるようにする。 ○企画書の考案に悩んでいるグループには、提案する人へのインタビューで対象者の現状を把握したり専門家から知識を得たりするなどの助言をする。

- ・「運動手帖」も一緒に掲載して、1日の運動の目安を示しているよ。

【情報の整理・分析】

- ・それぞれが調べた情報を、「フィッシュボーン」に書き出して整理してみよう。
- ・おじいちゃんたち、膝や腰が痛くて生活するのも辛いなら、その場足踏みは難しいかな。
- ・膝や腰の痛みが和らぐストレッチはないかな。
- ・タオルを使ったストレッチやイスに座った状態での運動は、参考にできそうだね。
- ・毎日、無理なく続けられるストレッチと運動を企画するのはどうだろう。
- ・新しく、膝や腰の痛みを和らげるストレッチも調べないといけないね。
- ・「KWL」を使って、分かったこととこれから知りたいことを整理しよう。

【次回の見通し】

- ・次回は、運動を考える人とストレッチを調べる人に分かれて進めていこう。
- ・計画では次回から企画書の内容を考えることになっていただけ、情報収集をもう1時間するように修正しよう。

3 本時の学習を振り返るとともに、今後の見通しをもつ。

○この時間の最後に学習の経過報告をしてもらいます。

おじいちゃん、おばあちゃんでもできる運動方法の場合の例
私たちのグループは、「おじいちゃん、おばあちゃんでもできる運動方法」について考えています。

前回までに、インタビューやインターネットを利用した情報収集をしました。集まった情報をもとに「フィッシュボーン」を使って整理しました。そして、「KWL」を使って、今後の学習の見通しを立てました。膝や腰が痛くて生活するのも辛いおじいちゃんおばあちゃんにとっては激しい運動は難しいので、毎日無理なく続けられるタオルを使ったストレッチやイスに座った状態での運動を考えることになりました。また、膝や腰の痛みを和らげるストレッチがないか調べていこうと思います。

○「学びゲット」で振り返りをしましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんでもできる運動方法の場合の例

- ・みんなが集めた情報を共有することで、自分が調べた「公共施設の方の視点」以外の角度から、おじいちゃんおばあちゃんに合う運動に必要なことを整理することができた。
- ・みんなが情報を整理する中で、情報収集の時間がもう少し必要だという意見になったので、計画を修正することができた。次回は、タオルを使ったストレッチやイスに座った状態での運動をNHKの「テレビ体操」などを参考に考えていきたい。

○多様な情報を整理することができるように、適した思考ツールを活用するよう促す。

★多様な方法で情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積している。

※ロイロノート・スクール

★適切な思考ツール等を選んで情報を整理している。

※ロイロノート・スクール

★情報を読み取って、自分の考えを構築し、表現している。

※ロイロノート・スクール、企画書

★身の回りの課題の問題解決に他者と協働して取り組んでいる。

※ロイロノート・スクール

○学習状況を生徒自身が把握し、より深い学習にするために、計画通り進んでいない場合は計画を修正したり、役割分担をしたりするよう促す。

○グループでの活動が分かるように、大画面に映し出したロイロノート・スクールを示して報告できるようにする。

★自らの学習状況を把握し、目標を定めて、学習を進めている。

※「学びゲット」